

平成27年度学長裁量経費研究推進支援プロジェクト研究成果報告書

1. 研究の概要

プロジェクト名	児童の放課後生活の充実に向けた活動プログラムの開発		
プロジェクト期間	平成27年度		
申請代表者 (所属講座等)	鈴木 佐代 (家政教育講座)	共同研究者 (所属講座等)	奥谷 めぐみ (家政教育講座)
取組方法・取組実績の概要	<p>本研究では、児童の放課後生活をより充実させるために、生活に関わる2つの体験的な活動プログラムを開発し、放課後児童クラブ（学童保育所）で実践し、体験的活動の意義について検討した。取組実績の概要を以下に示す。</p> <p>1) 住教育に関する「生活と音」プログラムとして、「音あてクイズ」「大声大会」を、消費者教育、情報教育に関する「生活とおかね・あそび」プログラムとして「スマートフォンでゲームのつかいかたを考えよう！」の3つの活動プログラムを開発した。</p> <p>2) 開発した活動プログラムを、福岡市のy放課後児童クラブの児童や保護者を対象に2016年1月5日、2月25日に実践した。</p> <p>3) 活動プログラム実施中の観察調査、実施後のアンケート調査、ヒアリング調査等を通して、本活動プログラムの効果を検証した。</p> <p>4) 関連する活動プログラム実施団体の調査として、住教育に関する教材収集やワークショップへの参加を行った。</p> <p>5) 研究成果の一部を、日本音響学会2016年春季研究発表会で発表した（2016年3月）。</p>		
研究成果の概要	<p>本プロジェクトは、少子化や共働き家庭の増加、家庭や地域における子育て力の低下、子どもの安全を脅かす犯罪やトラブルの増加など、子どもと家庭を取り巻く環境が大きく変化するなかで、児童の放課後生活をより充実させるために、子どもを取り巻く現代的な課題に則した、生活に関わる体験的な活動プログラムを開発することを目的とした。</p> <p>研究期間内に、以下の3つの活動プログラムを開発することができ、内容や方法について改善すべき点はあるものの、児童、指導員、保護者からおおむね高評価を得た。</p> <p>①小学生が日常生活の中のさまざまな音に興味を持つことを目的とした「音当てクイズ」</p> <p>②騒音計や音の強さの単位（dB）、自分や友達の声の大きさ等を知ることが目的とした「大声大会」</p> <p>③スマートフォン、携帯ゲーム機等の多種多様なメディアが身近な児童に、消費欲求が掻き立てられる仕組みについての理解を促すため、ソーシャルゲームを題材とした「スマートフォンでゲームのつかいかたを考えよう！」</p> <p>今後は、本プロジェクトで開発した活動プログラムを、放課後児童クラブで実施するだけでなく、学校教員向けの研修や、大学講義における実践につなげ、学校教育に求められる住教育や消費者教育・情報教育のあり方を提示するために活用していきたい。また、保護者から子どもと一緒に活動プログラムに参加したいとの要望があったことから、小学校やPTAなどと連携して、より多くの親子を対象としたプログラムとして発展させていくことも検討したい。また、本研究の成果は、放課後児童クラブを、多様な活動の場としても機能する施設空間のあり方について検討するための基礎資料としても活用できる。</p>		
外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法等について〔 <input type="checkbox"/> （該当事項）にチェック方願います。〕			
外部資金獲得申請（予定）	<input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金 <input type="checkbox"/> 受託研究費 <input type="checkbox"/> その他 ()	研究成果の公表方法（予定）	<input checked="" type="checkbox"/> 学会（国内・国外）： <input type="checkbox"/> 新聞・図書・雑誌論文等： <input type="checkbox"/> その他：